

# 河川整備基本方針(1級水系)

策定済み河川又は審議中: 57水系

審議開始河川: 3水系

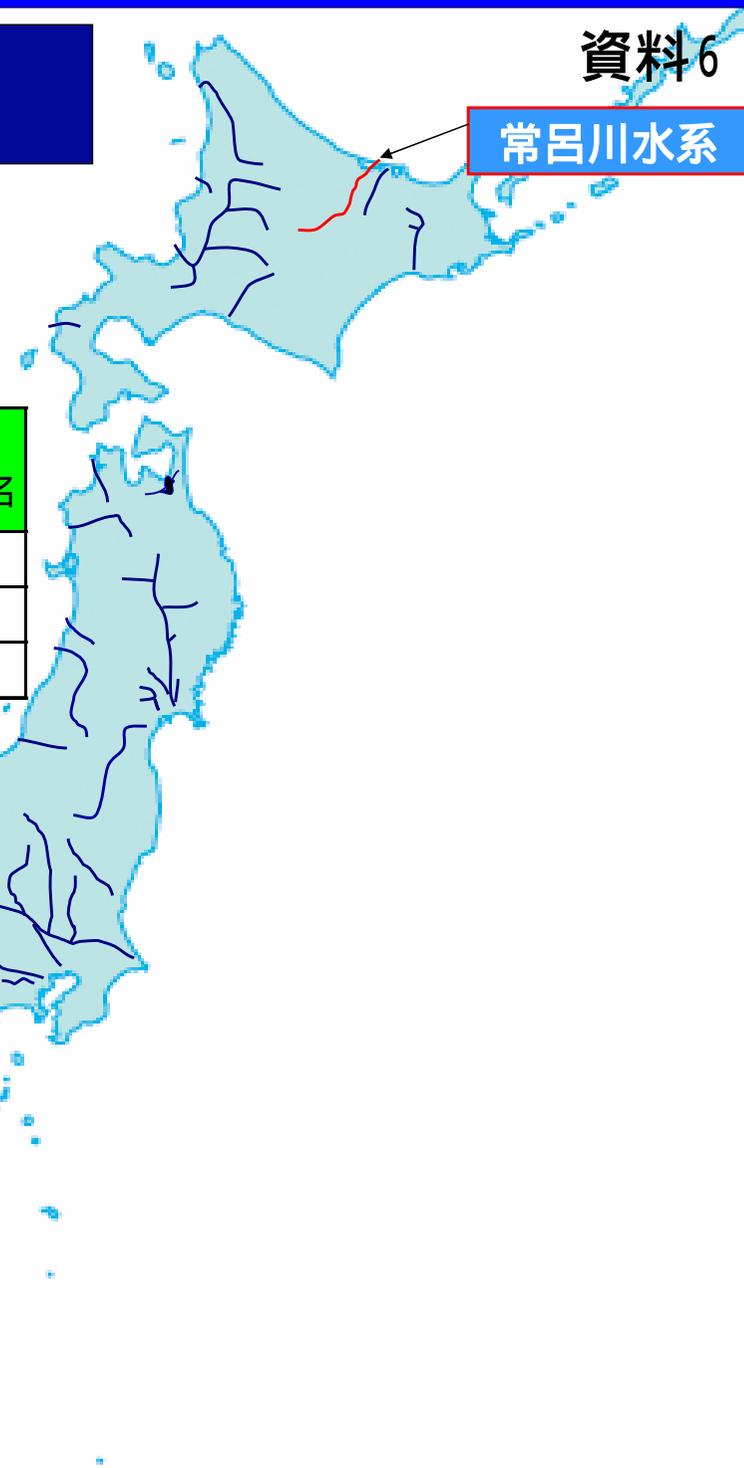
平成18年7月31日現在

水系名	流域面積	幹川流路延長(km)	流域内人口(千人)	想定氾濫区域内人口(千人)	流域の主な道県名
常呂川	1,930	120	140	59	北海道
佐波川	460	56	31	82	山口県
嘉瀬川	368	57	130	240	佐賀県

佐波川水系

嘉瀬川水系

常呂川水系



# 常呂川水系

- ・流域内の大半の人口が集中する北見市が中流部の盆地に位置。
- ・下流部ではホタテの養殖等の増殖産業、中流部ではタマネギ・てん菜等の農業が盛ん。
- ・平成4年・13年を始めとして、近年、下流部を中心として大きな洪水被害が発生しており、洪水を安全に流下させるための治水施設の整備を進めることが必要

## 【流域の諸元】

流域面積 : 1,930km<sup>2</sup>  
 幹線流路延長 : 120km  
 流域内人口 : 約14.0万人  
 主な市町村 : 北見市、訓子府町、置戸町  
 想定氾濫区域面積 : 135.1km<sup>2</sup>  
 想定氾濫区域内人口 : 約5.9万人  
 想定氾濫区域内資産額 : 約7,700億円

対象降雨量 : 189.7mm/日(北見上流域)  
 基本高水の比-ク流量 : 1,900m<sup>3</sup>/s(北見地点)  
 計画高水流量 : 1,600m<sup>3</sup>/s(北見地点)



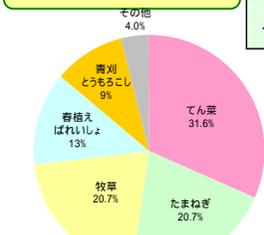
平成4年・13年を始めとして、近年、下流部を中心として大きな洪水被害が発生



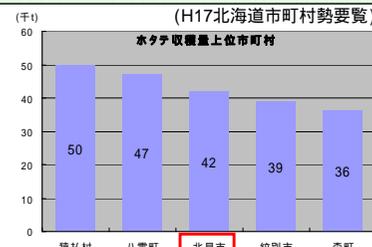
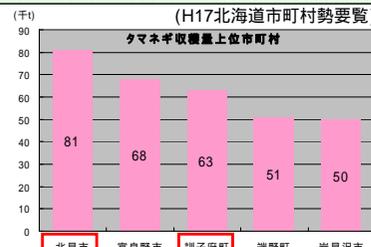
洪水名	北見地点流域平均雨量	北見地点流量	浸水被害戸数	浸水被害積	堤防整備状況			
					完成	暫定	未整備	
平成4年9月	77.6mm	670.83m <sup>3</sup> /s	26戸	4,585ha	現況(平成16年度末)	121.5km (89.9%)	7.6km (5.6%)	6.1km (4.5%)
平成13年9月	175.1mm	931.97m <sup>3</sup> /s	2戸	1,037ha				

## 流域内の産業

【漁業】河口部(北見市)ではホタテの養殖などがされており、その収穫量は全道3位を占める。  
 【農業】タマネギ・てん菜・馬鈴薯を主要作物とする農業が盛ん。特に、北見市のタマネギは全道一の生産量を占めている。



流域の農作物生産(H17北海道市町村勢要覧)



## 多様な生物環境の保全と適正な河川空間利用

・サケ産卵場所：常呂川では45～65kmが主産床

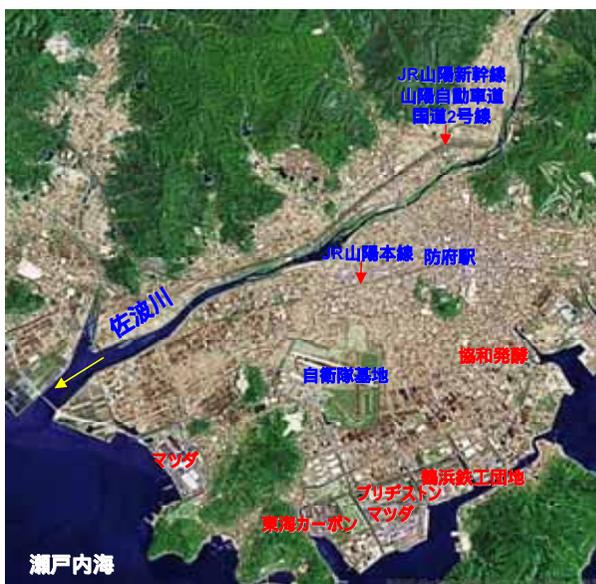
# 佐波川水系

- ・工業コンビナート、主要幹線等、人口・資産が集中する下流の三角州・干拓地は拡散型の氾濫、上中流部の谷底平野は貯留型の氾濫
- ・河積の足りない中上流部では、掘削にあわせて固定堰の改築が必要
- ・地元中学校がホタルの飼育・放流を行うなど、地域と一体となった河川環境の整備・保全

## 【流域の諸元】

流域面積	: 460km <sup>2</sup>
幹線流路延長	: 56km
流域内人口	: 約31千人
主な市町	: 防府市、山口市、周南市
想定氾濫区域面積	: 58.1km <sup>2</sup>
想定氾濫区域内人口	: 約82千人
想定氾濫区域内資産	: 1.2兆円

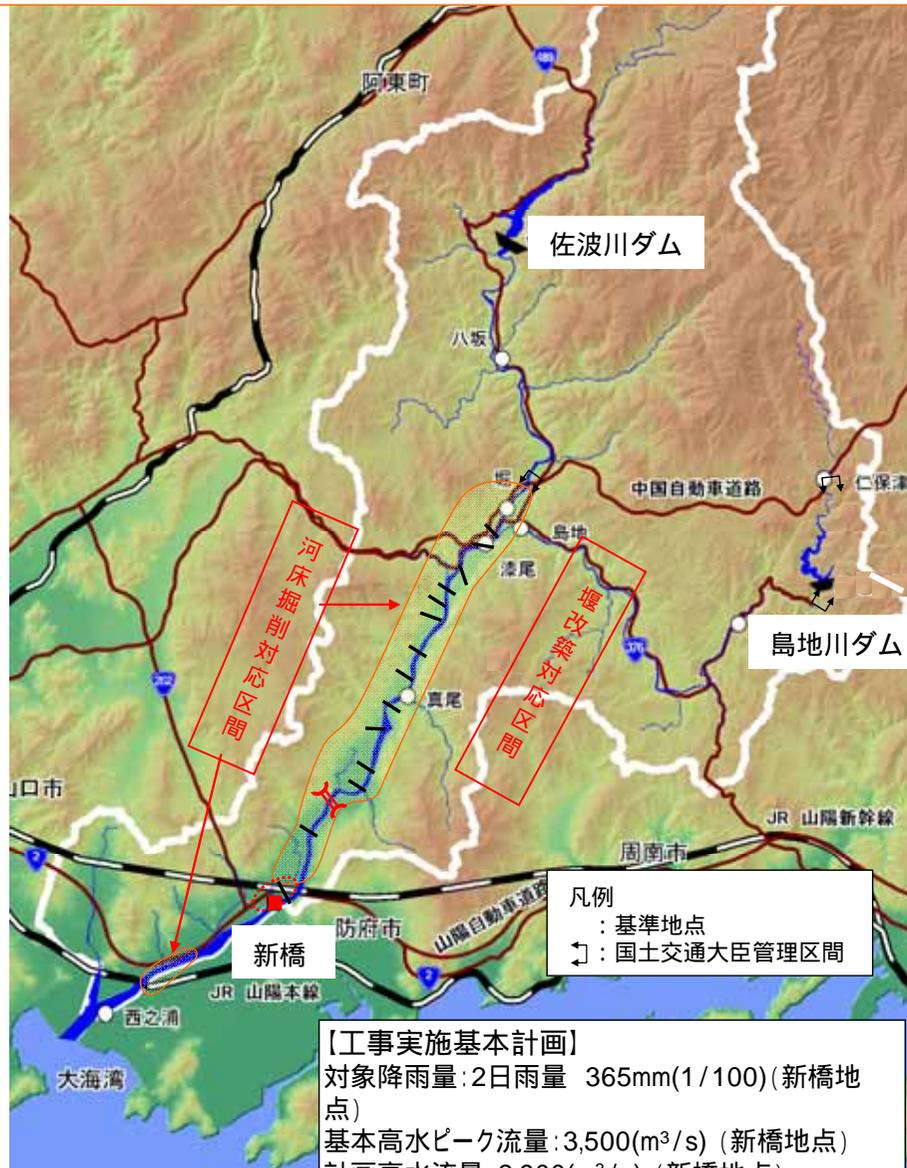
・江戸時代以来の干拓地である下流氾濫域の防府市街地は、新幹線・国道などの主要幹線が横断、コンビナートが林立し、人口・資産が集中  
 ・特に、河口部には輸送用機械器具製造業が発達。出荷額は県内シェアの76%



下流は扇状地三角州と広大な干拓地



- 江戸時代の干拓地
- 明治32年以降の干拓地
- 塩田跡地
- 旧河道



【工事实施基本計画】  
 対象降雨量: 2日雨量 365mm(1/100)(新橋地点)  
 基本高水ピーク流量: 3,500(m<sup>3</sup>/s) (新橋地点)  
 計画高水流量: 2,900(m<sup>3</sup>/s) (新橋地点)

## 公園やキャンプ場の整備による憩いの場の提供



破堤等により甚大な被害が発生した昭和26年洪水等をうけて、佐波川ダム、島地川ダムを整備



中上流域の谷底平野への取水のための固定堰が連続し、河積確保のため、掘削とあわせた改築が必要



・地元中学校がゲンジボタルを飼育 S49より継続して毎年約1万匹を放流

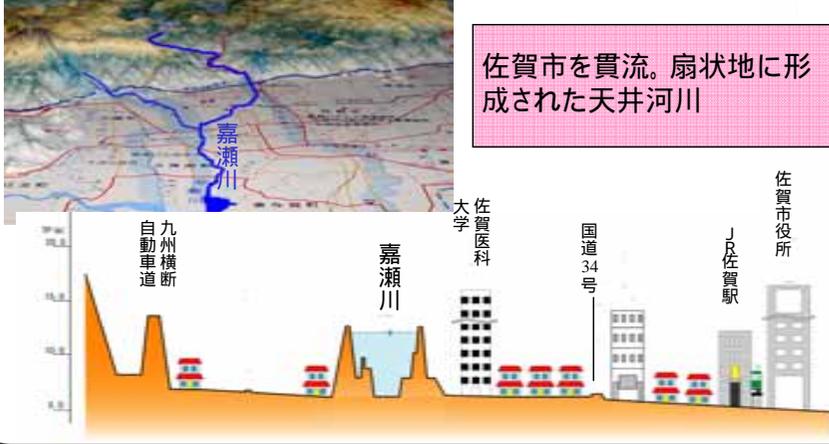
# 嘉瀬川水系

## 【流域の諸元】

流域面積: 368km<sup>2</sup> 幹川流路延長: 57km  
 流域内人口: 約13万人 主要な市町村: 佐賀市, 小城市  
 想定氾濫区域面積: 195km<sup>2</sup> 想定氾濫区域内人口: 約24万人  
 想定氾濫区域内資産額: 約29,000億円

## 被害ポテンシャルの大きい地形

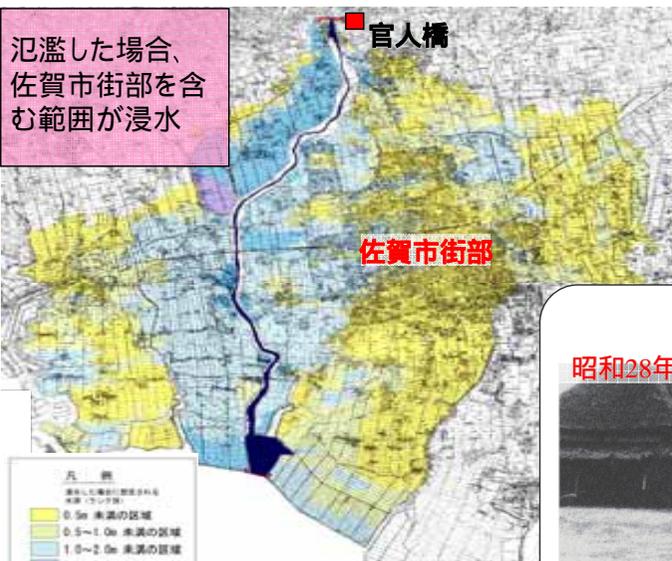
佐賀市を貫流。扇状地に形成された天井河川



## 人口・資産の集中する地域への拡散氾濫

氾濫した場合、佐賀市街部を含む範囲が浸水

佐賀市街部



浸水想定区域図

- 嘉瀬川は、佐賀市を貫流する扇状地上に形成された天井河川。一度氾濫すると拡散型氾濫となり、佐賀市街地部を含む範囲が浸水。また、有明海の潮位が高いと低平地で雨水の排出が困難となり浸水が発生。
- 国際的なパルーン祭典「佐賀インターナショナルパルーンフェスタ」の開催等、河川空間の利用が盛ん。
- アユの産卵・生息場となっている瀬やムツゴロウ、ハクセンシオマネキ等が生息する干潟の保全。

## 【工事实施基本計画】

対象降雨量: 615mm/2日 (W=1/100)  
 基本高水のピーク流量: 3,400m<sup>3</sup>/s (官人橋地点)  
 計画高水流量: 2,500m<sup>3</sup>/s (官人橋地点)



## 今なお残る歴史的遺構

石井樋



なりどみひょうこ  
 佐賀藩の武将成富兵庫  
 しげやす  
 茂安により築造された  
 取水施設

歴史的な竹林(水害防備林)



成富兵庫茂安による治水  
 遺構(堤外遊水地、水害  
 防備林)

## 盛んな河川利用

佐賀インターナショナルパルーンフェスタ



秋の風物詩となっている佐賀インターナショナルパルーンフェスタ(約100万人が訪れる)

遣唐使船レース



夏の風物詩となっている遣唐使船レース

## 主な洪水被害

堤防決壊により広範囲で浸水

昭和28年6月洪水



三日月町の家屋の流失

死者7名, 浸水家屋31,000戸以上

昭和38年6月洪水



濁流に吞まれる古瀬地区

死者13名, 浸水家屋1,200戸以上

## 貴重な生物の生息環境

ムツゴロウ、ハクセンシオマネキ等の貴重な生物の生息地

ムツゴロウ



有明海特有の干潟が広がる

アユの産卵・生息環境

アユ



(14k付近)  
 中流部のアユの産卵場